

日本語教育と日本語の方言

2005年5月29日

町 博 光

1 日本語教育に方言は必要ない？

Aさん：日本語教師は標準語を教えるのであって、方言に染まってはいけない。

Bさん：標準語は相手を遠ざける。「です」「ます」を使っていると、Bさんはいつも標準語ですね、と言われる。

Cさん：ここはどこですか？

留学生

標準語

就労者（主婦）

方言（生活語）

地域で、よりよく生きていくのに必要な、生活語としての方言を取り入れる。その土地のことば（方言）に理解と関心を持つことにより、地域（文化）への愛着、地域（文化）への理解を深めることが出来る。方言を多少とも理解できるというこは、その地域の一住民として生きていく上での、よりスムーズな伝達手段および情移入手段を獲得することになる。方言を中級教科書に取り入れることは、単に伝達手段としての役割のみでなく、感情融和的な役割をも期待してのことである。

2 方言から生活語へ

方言...ある地域で話される言語の総体

生活語...地域で生活する人にとっては、変えることのできない生活のための言語

3 標準語と方言

先生、明日、家に居らっしゃいますか？

センセー アシタ イエニ オラレマスカ？

センセー アス ウチニ イラッシャイマスカ

A 全国共通語 松 竹 山 川

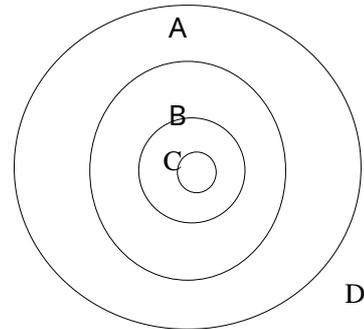
B 地域共通語 国立国語研究所 停留所 書留

入り口 昆布 茄子 鮭

塩辛い 温い 肥る 行かれる

C 地域共通語 しんどい たいぎい やねこい しわい しばれる

D 方言（生活語） はぶてる 傘にのせる オガメソー ゴジロ



4 方言受容の意識

4 - 1 大塚（1992）「仙台における留学生の方言受容意識」『文研論集』

1 今住んでいる地方の方言を勉強するつもりはまったくない

21人

2 今住んでいる地方の方言は、生活するのに最低必要なものが理解できればよい

43人

3 今住んでいる地方の方言は、生活するのに最低必要なものを自分でも使える

- | | |
|--|-----|
| ようになりたい | 17人 |
| 4 今住んでいる地方の方言も勉強して、標準語と同じように理解できるようになりたい | 15人 |
| 5 今住んでいる地方の方言も勉強して、標準語と同じように自分でも使えるようになりたい | 18人 |
| 6 これからは方言を中心に勉強し大学などでも方言を積極的に使いたい | 1人 |
| 7 無回答 | 4人 |

4 - 2 HIC 日本語教室の学習者 115 名

広島方言の学習：50%以上が「広島方言を知らなくて困ったことがある」
その学習については

- | | |
|----------------------|-------|
| 1 共通語を学習した後で | 34% |
| 2 周りの日本人と広島弁で話ができる程度 | 28% |
| 3 よく使われる言葉だけ聞いてわかる程度 | 16.1% |
| 4 だいたい聞いてわかる程度 | 15.3% |
| 5 学習したくない | 1.7% |

主婦と研修生のニーズが高い

5 広島方言の教材化

広島弁の概要

< 音声 >

ナニ ショールン ネー。アリガトー アリマシタ。(イントネーション)
語アクセント 雲 と 蜘蛛 神 と 髪 海苔 と 糊
東京 クモ クモ カミ カミ ノリ ノリ
広島 クモ クモ カミ カミ ノリ ノリ
森田 久保田 五郎 明 緑 二十歳
東京 モリタ クボタ ゴロウ アキラ ミドリ ハタチ
広島 モリタ クボタ ゴロウ アキラ ミドリ ハタチ

イツカイチノ ホージャガ ネー。ア ホー ネー。(h音化)

ワシャー キョー チョーシガ エーンジャ。(主格表現)

エンリョ シンサン ナ。アシュー ヌベンサイ。(目的格表現)

アカー ワカー タカー (連母音)

< 文法 >

~ジャ(断定表現) ~ジャケー(接続表現)

キョーワ アツイ ノー(文末詞) シランカッタ。イケン ネー。(否定表現)
オーイクナッタ。(形容詞)

アタシガ ネー。ケンコーナカッタケン ネー。ジマンナカッタ ネー。(形容動詞)
ワシガ ツイテ イクケー ノー。(代名詞)

アソコニ ナランドッテデショー。ミナサンガ タマゲテンデス ヨ。センセーガ
キノー キチャッタンデス ヨ。(テ敬語)

ガンス(丁寧語) キトラレタ(レル・ラレル敬語) オシテミンサイ。(ナサル 敬語)

ダンダン アヨーニ ナットル。(~ヨル・トル)

ヒマサエ アリヤー ネー。(条件表現)
ナカナカ イキヤー スマー ガ。(助動詞「まい」)

<語彙>

- 21 アガーニ コガーニ ソガーニ (代名詞)
- 22 エーコト オシエテ モロータ。ホンマニ エット(副詞)
- 23 ノケル タワン ミテル ハシル ハブテル タマゲル (動詞)

6 教科書の中での扱い

- 『SPOKEN JAPANESE VOLUME 』(AKP同志社留学生センター 1988)
『別科・日本語 』(長崎総合科学大学 1989)

7 地域語教材のシラバス化

機能別文法項目のシラバス

聞き手に対し返答や応答を求めるもの

疑問・質問を表す

誘う

勧める

依頼する

命令する・禁止する

非難する

確認する

聞き手に情報や態度を伝達するもの

アスペクト

可能を表す

授受を表す

義務を表す

願望・希望を表す

判断を表す

会話の流れを円滑にするもの

返答する・あいづちをうつ

敬意を表す

(山下友子 2005「日本語教育における地域語教材の開発」)

広島大学大学院教育学研究科修士論文)

8 方言の将来